

中部縦貫自動車道（^{ひらゆ}平湯～^{ひよも}日面）

第2回意見聴取結果

令和5年2月3日

目 次

意見聴取の結果

1. 第2回意見聴取の概要

1) アンケート配布資料 2

2) 意見聴取の概要 7

2. 第2回意見聴取の結果

1) 回答者属性 9

2) 道路の利用形態別の回答者属性 10

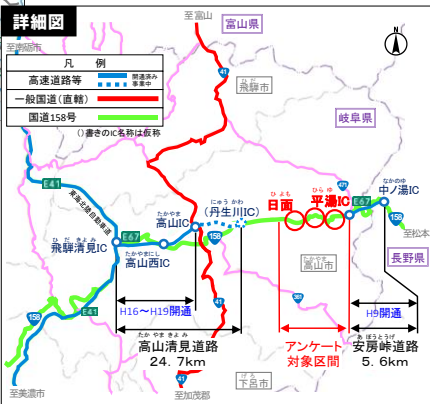
3) 回答者の国道158号の利用状況 13

4) ルート帯案に関すること 15

1. 第2回意見聴取の概要 1)アンケート配布資料①

道路計画に関するご意見をお聞かせください 中部縦貫自動車道(平湯～目面) の計画に関する第2回アンケート

中部縦貫自動車道(平湯～目面)の計画にあたり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、ルート帯案を検討する際に重要だと思うポイントについて、ご意見を伺うものです。



アンケートの答え方はP.2をご覧ください。



郵便はがきによるご回答は、**令和4年2月24日(木)**までをお願いいたします。
※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

お問い合わせ

国土交通省 中部地方整備局
高山国道事務所 計画課

〒506-0055 岐阜県高山市上岡本町7-425
TEL: 計画課 0577-36-3822 (代表: 0577-36-3811)
ホームページ: <https://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/index.html>

アンケート調査について

本アンケート調査は、中部縦貫自動車道(平湯～目面)の計画にあたり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、周辺地域にお住まいの皆様のご意見をお聞かせ頂くために実施するものです。

これまで、国土交通省中部地方整備局では1回目のアンケート調査において地域の方々から頂いた意見を集約し、中部縦貫自動車道(平湯～目面)周辺地域における交通の課題や本道路に求められる必要な機能、政策目標を検討して参りました。

2回目となる本アンケート調査では、政策目標を達成するためのルート帯案を検討する際に重要と思われるポイントについて、地域の皆様にご意見を伺うものです。
ご協力のほどお願い申し上げます。

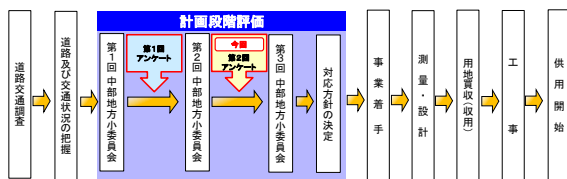
本調査は、高山市にお住いの世帯を対象にアンケート用紙(同封の返信用はがき)を送付し、ご回答をお願いしております。

ご回答いただいた内容は、国土交通省 高山国道事務所で集計を行います。

※道路の計画について、地域にお住まいになる皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的としております。
そのため、返信用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

道路事業の流れ(計画段階評価の流れ)

- ・計画段階評価では、地域の皆様のご意見を伺いつつ、地域の状況と課題、道路に求められる機能を整理し、今後整備を進める道路について、概ねのルートや構造を評価していきます。
- ・第1回アンケートでは、地域の課題や地域における交通の課題や求められる必要な機能についてのご意見を頂き、政策目標を決定いたしました。
- ・今回行う第2回アンケートでは、政策目標を達成するためのルート帯案を検討する際に重要と思われるポイントについてお聞きします。
- ・本アンケート結果を基に、道路整備の方針(対応方針の検討)を検討して参ります。



※必要に応じ、都市計画決定や環境影響評価の手続きが実施される。

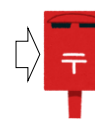
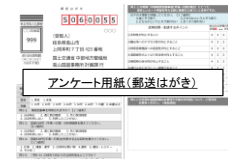
アンケートの答え方

<回答方法について>

・P.3～5を見ながら、回答してください。回答方法は次のいずれかをお願いいたします。

【回答方法①】
アンケート用紙(同封の郵送はがき)に記入の上、ポスト投函してください。

【回答方法②】
下記よりアンケートwebページ内の手順に従って回答してください。



<返信用の郵送はがきの記入例>

- ・選択回答の設問は、あてはまる番号に**つだけ〇**(マル)をつけてください。
- ・問2は4段階評価の質問です。**各項目についてつづ〇**(マル)をつけてください。
- ・問3の設問は自由解答です。具体的にご意見をお書きください。

〒506-0055
岐阜県高山市
上岡本町7丁目425番地
国土交通省 中部地方整備局
高山国道事務所 計画課 行

設問	回答
問1-1	1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇 6 〇 7 〇 8 〇 9 〇 10 〇
問1-2	1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇 6 〇 7 〇 8 〇 9 〇 10 〇
問1-3	1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇 6 〇 7 〇 8 〇 9 〇 10 〇
問1-4	1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇 6 〇 7 〇 8 〇 9 〇 10 〇
問2	1 〇 2 〇 3 〇 4 〇 5 〇 6 〇 7 〇 8 〇 9 〇 10 〇
問3	自由記入欄

1. 第2回意見聴取の概要 1) アンケート配布資料②

第1回意見聴取の結果

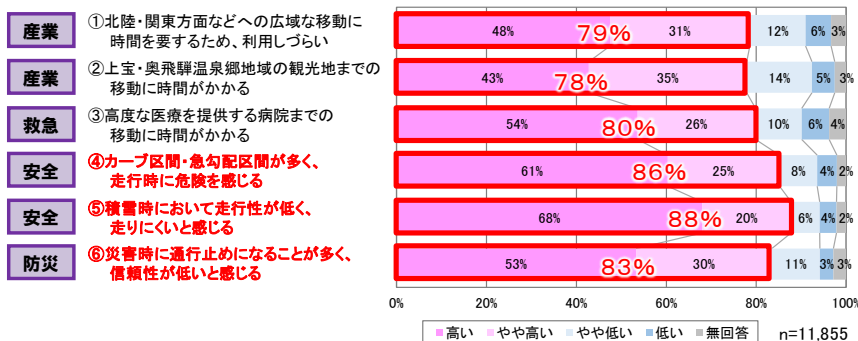
■ 第1回意見聴取の結果では、地域の皆さまや道路利用者の方にアンケートを行い、11,800通あまりのご意見が集まりました。また、関係団体の皆さまにもヒアリングを実施しています。

■ いただいたご意見を以下にお知らせいたします。

(1) アンケート結果

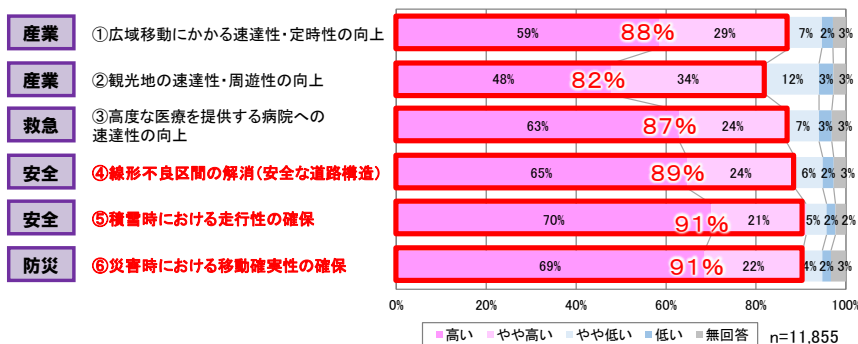
■ 国道158号（平湯～日面）の交通の課題

・ 交通の課題については、全ての項目で、約8割の方が課題と認識しています。
 ・ 特に、「安全」や「防災」が課題と認識している傾向です。



■ 国道158号（平湯～日面）の必要な道路の機能

・ 必要な道路の機能については、全ての項目で、8割以上の方が必要な機能として回答しています。
 ・ 特に、「安全」や「防災」が必要な機能との意見が多い傾向です。



(2) ヒアリング結果

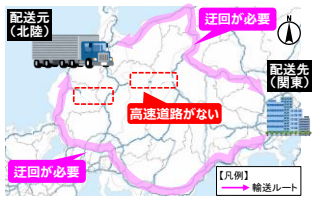
区分 (政策目標(案))	主な意見
【産業】 速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	<ul style="list-style-type: none"> 国道158号は所要時間がかかるため、他の道路を通行した方が便利。(福井県トラック協会会員企業) 国道158号は雪による通行止めの心配がある。(石川県トラック協会) 早期に完成させて首都圏からのアクセスを良くしてほしい。(旅館ホテル協同組合)
【救急】 救急搬送時の速達性・安定性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 平湯～日面間の東側は、縦断勾配がきつく、カーブが多いため、特に冬季は救急搬送の安定性に課題。(高山市) 積雪時の救急搬送時の通行性を確保してほしい。(松本広域消防局)
【安全】 交通安全、積雪時の走行性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 平湯～日面間の東側は、カーブ区間や急勾配が多く、特に冬季は危険。(飛騨市) 積雪量も多く、急勾配のためスリップすることもあり危険。(商工会) 冬季は、凍結があり走行しにくく、安全性が低い。カーブが多く、急勾配な坂のため走行しにくい。(旅館ホテル協同組合)
【防災】 被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月豪雨により、平湯地域は孤立状態、温泉街の観光客は帰省出来ないなど、大きな影響が発生。(岐阜県) 当区間は令和2年7月豪雨において被災し、長期間通行止めとなり、迂回路がないため通勤通学など日常生活に大きな支障が生じた。(高山市) 災害時の迂回路がないので、常に走行できるようにしてほしい。(旅館ホテル協同組合)

地域の課題と課題を解決するための目標について

■ 第1回委員会にて整理した地域の課題と地域の皆さまからいただいたご意見をもとに、課題解決に向けた目標を以下のとおり定めて、重視・配慮すべき事項を踏まえ、対策案を検討します。

課題1

- ・ 高速道路等が未整備。
- ・ 所要時間がかかり輸送費用も増加。
- ・ 来訪意欲が低下し、観光入込客数も減少。



意見聴取でいただいたご意見

- ・ 国道158号は所要時間がかかり、他の道路が便利
- ・ 首都圏からのアクセスを良くしてほしい

政策目標

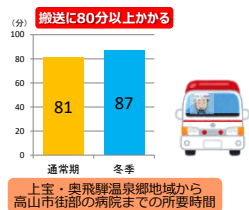
速達性・定時性の向上による産業活性化の支援

定めた目標を踏まえ、地域の課題を解決するために、3つの比較案を検討しています。

- 案①全線バイパス案
- 案②現道改良+バイパス案
- 案③現道改良案

課題2

- ・ 上宝・奥飛騨温泉郷地域から救急搬送可能な病院は高山市街部にのみ立地。
- ・ 救急搬送に時間が必要。



意見聴取でいただいたご意見

- ・ 平湯～日面間の東側は、特に冬季の搬送の安定性に課題
- ・ 積雪時の救急搬送の通行性を確保してほしい

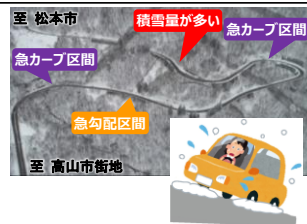
救急搬送時の速達性・安定性の確保

○対策案を検討する上での重視すべき事項

- 定時性が向上すること
- 観光地へのアクセス性が向上すること
- 救急医療施設への速達性が向上すること
- 道路線形がよくなり安全性が向上すること
- 積雪時の走行性が向上すること
- 通行止めになりにくい道路であること

課題3

- ・ 急カーブ及び急勾配区間が多いため、事故発生の危険あり。
- ・ 積雪時には、走りやすさや安全性が低下。



意見聴取でいただいたご意見

- ・ カーブ区間や急勾配が多く、特に冬季は危険
- ・ 冬季は、凍結があり走行しにくく、安全性が低い

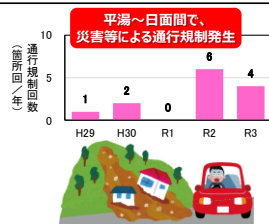
交通安全、積雪時の走行性の向上

○対策案を検討する上での配慮すべき事項

- 生活環境への配慮
- 自然環境への配慮
- 経済性への配慮

課題4

- ・ 災害時の通行止の際、代替路がないため、移動に支障あり。



意見聴取でいただいたご意見

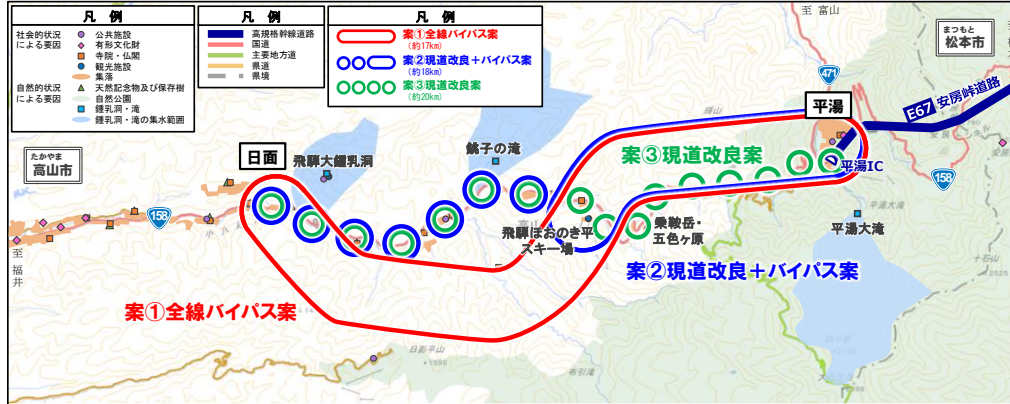
- ・ 令和2年7月豪雨により、地域が孤立し生活に支障
- ・ 災害時の迂回路がない

被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保

質問内容

■地域の課題を解決するために、以下のような対策案（3つの比較案）を検討しています。対策案について、ハガキの質問事項をお答えください。

●各ルートの位置図



●質問事項

質問1:この地域(中部縦貫自動車道(平湯～日面)周辺)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。以下の①～⑨の項目について、4段階で評価してください。その他ご意見があれば⑩に記入してください

【4段階評価】

4. 強く思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全く思わない

- ① 定時性が向上すること
- ② 観光地へのアクセス性が向上すること
- ③ 救急医療施設への速達性が向上すること
- ④ 道路線形がよくなり安全性が向上すること
- ⑤ 積雪時の走行性が向上すること
- ⑥ 通行止めになりにくい道路であること
- ⑦ 既存集落で住居等の移転が発生しないこと
- ⑧ 自然環境を改変しないこと
- ⑨ 道路をつくる費用が安いこと
- ⑩ その他(自由回答)

質問2:この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について、ご意見をお書きください。(自由回答)

評価軸			案① 全線バイパス案	案② 現道改良+バイパス案	案③ 現道改良案		
			全線を自動車専用道路でバイパス整備する案 約17km	西側は現道改良、東側は自動車専用道路でバイパス整備する案 約18km	国道158号を活用し、現道の線形不良箇所を部分的に改良する案 約20km		
政策目標	○速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	広域移動にかかる速達性・定時性の向上	定時性が向上すること	全線が自動車専用道路であるため定時性に最も優れる	自動車専用道路区間は定時性に優れる	現道を活用するため、他案に比べて定時性に劣る	
	○救急搬送時の速達性・安定性の確保	高度な医療を提供する病院への速達性の向上	救急医療施設への速達性が向上すること	全線バイパス整備のため、アクセス性は他案に比べて劣る	救急医療施設までの時間短縮が見込まれるが、案①に比べて劣る (平湯IC～最寄りの第3次救急医療施設の時間:10分短縮)*	現道改良区間はアクセス性がよい	救急医療施設までの時間短縮が見込まれるが、他案に比べて劣る (平湯IC～最寄りの第3次救急医療施設の時間:7分短縮)*
	○交通安全、積雪時の走行性の向上	線形不良区間の解消	道路線形がよくなり安全性が向上すること	規格の高い自動車専用道路ができることで、安全性向上が最も見込まれる	東側は規格の高い自動車専用道路ができ、西側は現道の安全性向上が見込まれるが、案①に比べて劣る	現道の急カーブがなくなり、安全性向上が見込まれるが、他案に比べて劣る	
		積雪時における走行性の確保	積雪時における走行性の確保	積雪時の走行性が向上すること	線形がよく、主にトンネル構造を想定しているため、積雪時の走行性向上が最も見込まれる	自動車専用道路区間は積雪時の走行性向上が見込まれる 現道改良区間は土工が多く、案①に比べて積雪時の走行性に劣る	現道の急カーブがなくなり、安全性向上が見込まれるが、他案に比べて劣る
	○被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	災害時における移動確実性の確保	通行止めになりにくい道路であること	全線バイパス整備により代替路を確保	バイパス区間は代替路を確保 現道改良区間は、代替路が確保されない	全線で現道を活用するため、代替路が確保されないことから、他案に比べて劣る	
配慮事項	環境への影響	生活環境への影響	既存集落で住居等の移転が発生しないこと	バイパス整備により、現道沿いの集落を回避するため、移転数は最も少ない	バイパス区間は、現道沿いの集落を回避するため、移転数は少ない	現道に住居等が連担していないため、移転数は少ないが、他案に比べて劣る	
		自然環境への影響	自然環境を改変しないこと	主にトンネル構造を想定しているため、改変が限定的であるが、他案に比べて劣る	自然環境の改変は限定的であるが、案③に比べて劣る	全線で現道を活用するため、最も自然環境の改変が小さい	
経済性への配慮			約1,500億円～約1,700億円	約1,100億円～約1,300億円	約900億円～約1,100億円		

* (現況)ETC2.0データ(R3.1平日)における速度、(案①)80km/h、(案②)バイパス区間80km/h、現道改良区間60km/h、(案③)60km/hとする -5-

【参考】中部縦貫自動車道（平湯～日面）整備前後のイメージ

中部縦貫自動車道(平湯～日面)に並行する国道158号が抱える課題

課題 高速道路等が未整備

課題 救急搬送に時間が必要

搬送に80分以上かかる

時期	所要時間 (分)
通常期	81
冬季	87

上庄・奥飛騨温泉郷地域から高山市街部の病院までの所要時間

課題 積雪時には、走りやすさや安全性が低下

課題 災害時の通行止の際、代替路がない

平湯～日面間で、災害等による通行規制発生

通行規制回数/年	H29	H30	R1	R2	R3
回数	1	2	0	0	4

土砂災害による通行止め

中部縦貫自動車道(平湯～日面)

位置図

アンケート対象区間 5.6km

高山清見道路 24.7km

凡例

- 社会的状況による要因: 公共施設、有形文化財、寺院・仏閣、観光施設、集落
- 自然的状況による要因: 天然記念物及び保存樹、自然公園、鍾乳洞・滝、鍾乳洞・滝の集水範囲
- 高規格幹線道路: 国道、主要地方道、県道、県境
- 案1全線バイパス案 (約17km)
- 案2現道改良+バイパス案 (約18km)
- 案3現道改良案 (約20km)

現況のイメージ

産業・救急・安全・防災の面で課題がある

積雪量が多く、急勾配・急カーブが存在するため、積雪時の危険性が高い区間

各ルート帯案の整備イメージ

案①全線バイパス案

全線を自動車専用道路でバイパス整備する案

案②現道改良+バイパス案

西側は現道改良、東側は自動車専用道路でバイパス整備する案

積雪時の課題が大きい東側をバイパス整備

案③現道改良案

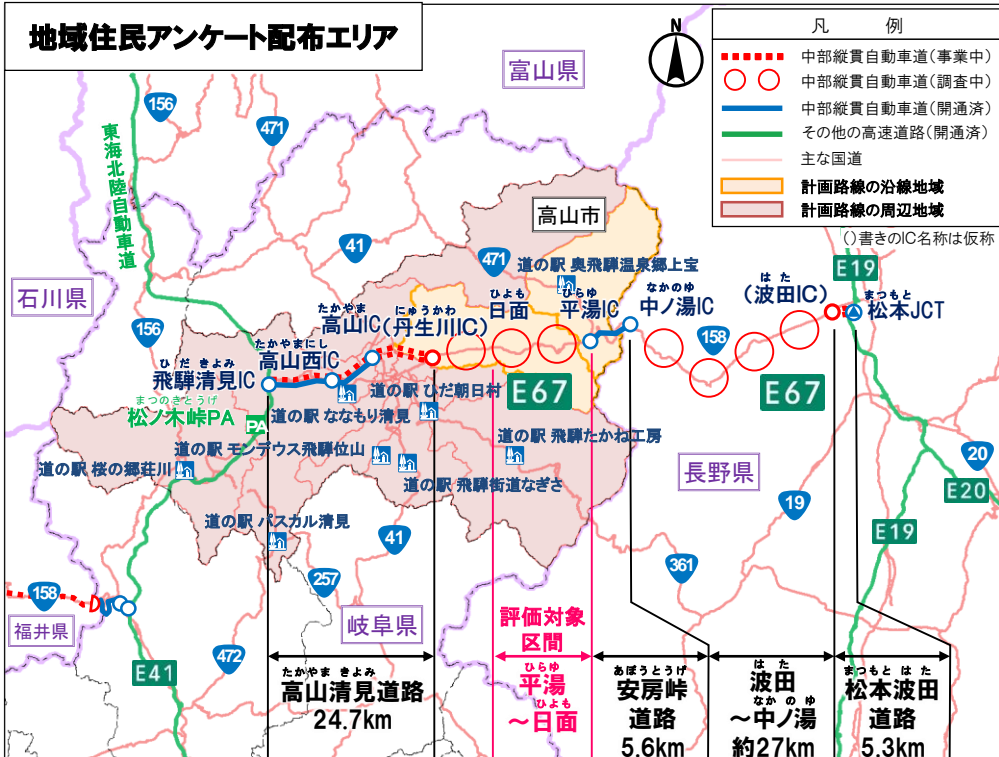
国道158号を活用し、現道の線形不良箇所を部分的に改良する案

1. 第2回意見聴取の概要 2)意見聴取の概要①

- 意見聴取の期間は、令和3年12月18日(土)～令和4年2月24日(木)。
- 地域住民、道路利用者、地方公共団体、各種団体を対象にアンケート・ヒアリングを実施。

●第2回意見聴取の概要

調査項目		対象	配布数	回収数	回収率	
地域住民アンケート(※1)	沿線住民	郵送アンケート(全戸配布) ・概ねのルート帯が通過する地域(高山市丹生川小学校区、折尾小学校区在住の方)	2,000	834 ※WEB回答含む	42%	
	周辺住民	郵送アンケート(全戸配布) ・上記以外の高山市内在住の方	34,000	8,154 ※WEB回答含む	24%	
小計			36,000	8,988	25%	
道路利用者アンケート	広域利用者	WEB ホームページ バナー/リンク 2次元バーコード	—	464	—	
		登録モニター	—	1,200	—	
		留め置きアンケート	—	77	—	
	小計			—	1,741	—
	地域の業務上利用者	郵送アンケート ・高山商工会議所会員企業 ・飛騨・高山観光コンベンション協会会員企業 ・飛騨高山温泉組合会員企業 ・飛騨高山旅館ホテル協同組合会員企業 ・飛騨農業協同組合会員企業	—	191	—	
合計			—	10,920	—	
地方公共団体ヒアリング		岐阜県、高山市、飛騨市、下呂市、松本市				
ヒアリング	各種団体ヒアリング	・高山商工会議所・神岡商工会議所 ・飛騨・高山観光コンベンション協会 ・飛騨高山温泉組合 ・飛騨高山旅館ホテル協同組合 ・飛騨農業協同組合・濃飛乗合自動車 ・トラック協会(岐阜県、富山県、長野県) ・トラック協会会員企業(石川県、福井県) ・全国旅行業協会岐阜県支部 ・日本旅行業協会中部事務局	—	—	—	
	県警・消防ヒアリング	・高山警察署 ・高山市消防本部 ・松本市消防本部				



周知方法：記者発表、ポスター掲示、高山市広報誌、高山国道事務所HP等へのバナー貼り付け

配布方法：①地域住民アンケートは、全戸配布 ※Webアンケートも回答可能
②道路利用者アンケートは、「道の駅」やPA、観光案内所へアンケート用紙設置 別途Webアンケート実施

回収方法：①郵便ポストへの投函
②「道の駅」等に投函ボックスを設置

期間：約2ヶ月
(令和3年12月18日(土)～令和4年2月24日(木))

留め置きアンケート設置箇所：

高山市	ななもり清見、飛騨たかね工房、飛騨街道なぎさ、桜の郷 荘川、モンテウス飛騨位山、バスカル清見、ひだ朝日村、奥飛騨温泉郷上宝
道の駅	
福井県	一乗谷あさくら水の駅、九頭竜、榎の里、恐竜溪谷かつやま、越前おおの荒島の郷
長野県	風穴の里、今井恵の里
高速道路PA	松ノ木峠PA
観光案内所	飛騨・高山観光コンベンション協会中橋観光案内所

(※1) 住民アンケートを分析した結果、上記の沿線地域と周辺地域で、国道158号の利用状況に相違が見られたため(P10参照)、住民を沿線住民と周辺住民に分割表示

1. 第2回意見聴取の概要 2)意見聴取の概要②

- 地域住民や道路利用者に対して、道の駅等にポスター掲示をして広く周知を行いつつ、郵送配布によるアンケートや高山国道事務所等のホームページ上にアンケート回答ページを設置し、調査を実施。
- これらに合わせて、道の駅や高速道路PA、観光案内所へアンケートブースの設置も実施。

■道の駅、高速道路PA、観光案内所の道路利用者アンケートの設置

調査項目	対象	回収数
留め置きアンケート	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅（高山市8箇所、福井県5箇所、長野県2箇所） 東海北陸自動車のPA（1箇所） 飛騨・高山観光コンベンション協会 中橋観光案内所 	77

道路計画に関するご意見をお聞かせください

中部縦貫自動車道（平湯～日面）の計画に関する第2回アンケート

中部縦貫自動車道（平湯～日面）の計画にあたり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、ルート帯案を検討する際に重要だと思ふポイントについて、ご意見を伺うものです。

広域図

詳細図

アンケートの回答は、下記より、**アンケートWebページにアクセス**していただき、アンケートWebページ内に記載の手順に従って回答してください。

<道の駅 飛騨たかね工房>



<東海北陸自動車道 松ノ木峠PA>



<中橋観光案内所>



アンケートのご回答は、**令和4年2月24日（木）**までお願いいたします。
※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

お問い合わせ
国土交通省 中部地方整備局 平606-0056 岐阜県高山市上岡本町7-425
高山国道事務所 計画課 TEL:計画課 0577-36-3822 (代表:0577-36-3811)
ホームページ: <https://www.cbr.mlit.go.jp/kakayama/index.html>

■ホームページへのアンケートバナー・URLの掲載

調査項目	対象	回収数
WEB ホームページバナー/リンク 2次元バーコード	<ul style="list-style-type: none"> 国道158号の利用経験がある方 道の駅（高山市8箇所、福井県5箇所、長野県2箇所） 	464
登録モニター	<ul style="list-style-type: none"> 国道158号の利用経験がある中部（高山市外）、北陸、関東、関西に住む登録モニター 	1,200

<高山国道事務所>

緊急情報 2022-12-27 22:42 掲載 (南沢製粉)

2022-12-16 19:29 17日(土)18日(日)にて、岐阜県高山市を中心とした大雪となり、東海地方の平雪でも積雪となる所がある見込みです。大雪、積雪や道路の凍結による交通障害に注意、警戒してください。
道路状況によっては通行止め等の実施する場合があります。
大雪の場合は、不要不急の外出は避け、たとえとも、やむを得ず外出される場合は、冬用タイヤの装着やタイヤチェーン着付及び防寒対策などのご協力をお願いします。

最新情報は以下のリンクから
中部地方整備局HP <https://www.cbr.mlit.go.jp/>
NEXCO中日本HP (高速道路情報) <https://www.c-nexco.co.jp/>
JARTIC HP (全国道路交通情報) <https://www.jartic.or.jp/>

158 E67 中部縦貫自動車道（平湯～日面）第2回アンケート 2月24日(木)まで
地域の皆様のご意見をお聞かせください。ご協力をお願いします。

高山国道事務所では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在宅勤務などの取り組みを行っています。皆様のご理解をお願い申し上げます。

<高山市役所>

中部縦貫自動車道(平湯～日面)計画に関するアンケート調査の実施について

中部縦貫自動車道(平湯～日面)計画に関するアンケート調査の実施について

アンケート調査の実施
皆様、本年の冬期から大雪となり、東海地方(岐阜県)を中心に大雪となる所がある見込みです。大雪、積雪や道路の凍結による交通障害に注意、警戒してください。
道路状況によっては通行止め等の実施する場合があります。
大雪の場合は、不要不急の外出は避け、たとえとも、やむを得ず外出される場合は、冬用タイヤの装着やタイヤチェーン着付及び防寒対策などのご協力をお願いします。

中部縦貫自動車道（平湯～日面）計画に関するアンケート調査

アンケート実施期間
令和4年 12月18日(土)～令和4年 2月24日(木)
※回答受付時間：9:00

2. 第2回意見聴取の結果 1)回答者属性

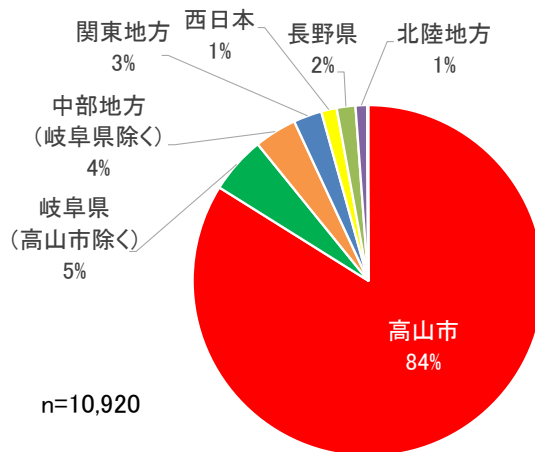
- 沿線住民834人、周辺住民8,154人、広域利用者1,741人、地域の業務上利用者191団体から意見聴取を実施。
- 回答者の居住地は、高山市内が8割以上を占めており、また、岐阜県（高山市除く）や関東地方、北陸地方など多方面からの意見を得られた。
- 回答者は男性の割合が約7割であり、年齢はどの年代からも意見を得られた。
- 回答者の自動車利用頻度は、約7割が「ほぼ毎日」利用と回答。

●第2回意見聴取のアンケート回収状況

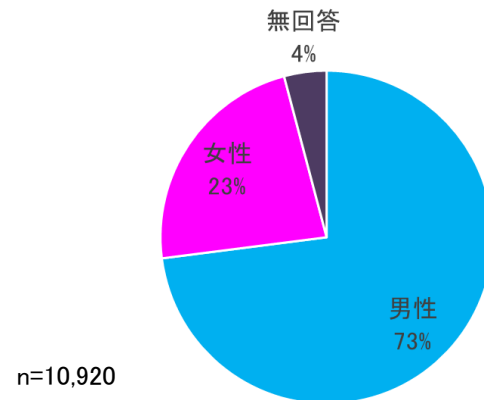
分類		回収数
地域住民	沿線住民	834
	周辺住民	8,154
	小計	8,988
道路利用者	広域利用者	1,741
	地域の業務上利用者	191
合計		10,920

●回答者(全体)の属性

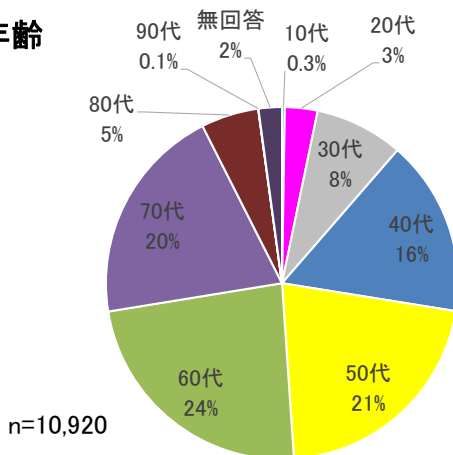
■居住地



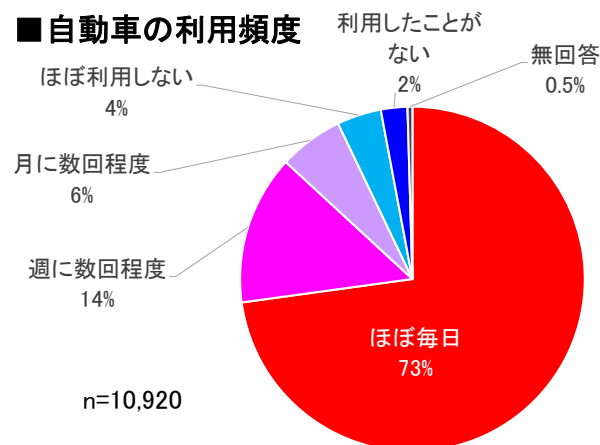
■性別



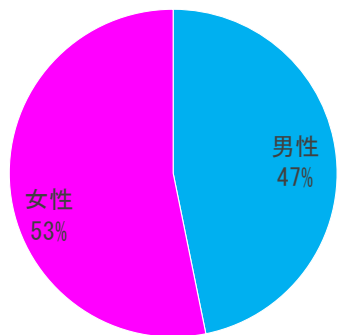
■年齢



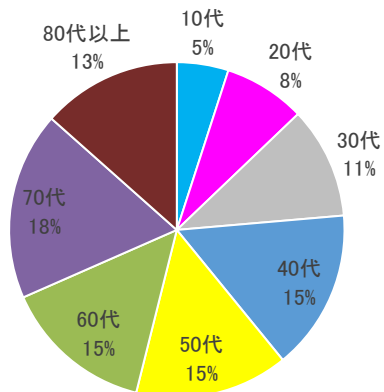
■自動車の利用頻度



■参考:性別公表データ



■参考:年齢公表データ



※R2国勢調査:高山市で集計

※R2国勢調査:高山市で集計

※0.1%未満は非表示

2. 第2回意見聴取の結果 2)道路の利用形態別の回答者属性(沿線住民、周辺住民)

■沿線住民は男性の割合が約8割、周辺住民は男性の割合が約7割であり、沿線住民及び周辺住民ともに、年齢はどの年代からも意見を得られる結果となり、自動車の利用頻度は、約8割が「ほぼ毎日」利用と回答。

●沿線住民と周辺住民の属性

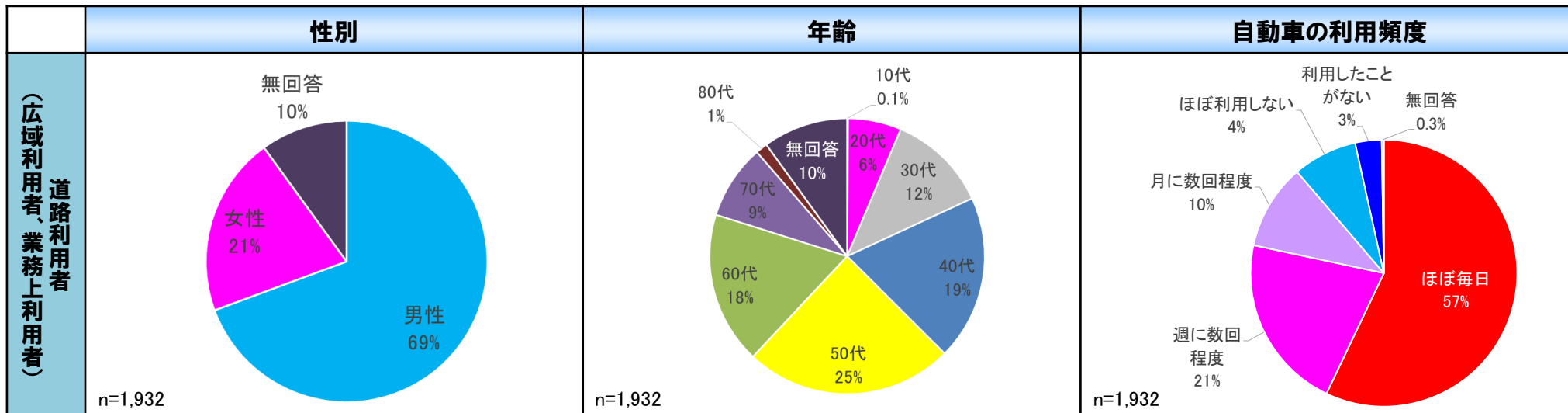
	性別	年齢	自動車の利用頻度
沿線住民 n=834	<p>無回答 2%</p> <p>女性 23%</p> <p>男性 75%</p>	<p>無回答 1%</p> <p>10代 1%</p> <p>20代 2%</p> <p>30代 6%</p> <p>40代 17%</p> <p>50代 23%</p> <p>60代 27%</p> <p>70代 19%</p> <p>80代 4%</p>	<p>無回答 0.5%</p> <p>利用したことがない 3%</p> <p>ほぼ利用しない 3%</p> <p>月に数回程度 5%</p> <p>週に数回程度 14%</p> <p>ほぼ毎日 75%</p>
周辺住民 n=8,154	<p>無回答 3%</p> <p>女性 23%</p> <p>男性 74%</p>	<p>無回答 1%</p> <p>10代 0.2%</p> <p>20代 2%</p> <p>30代 8%</p> <p>40代 15%</p> <p>50代 20%</p> <p>60代 25%</p> <p>70代 23%</p> <p>80代 6%</p>	<p>無回答 1%</p> <p>利用したことがない 2%</p> <p>ほぼ利用しない 4%</p> <p>月に数回程度 5%</p> <p>週に数回程度 12%</p> <p>ほぼ毎日 76%</p>

※0.1%未満は非表示

2. 第2回意見聴取の結果 2)道路の利用形態別の回答者属性（広域利用者、業務上利用者）

- 道路利用者は男性の割合が約7割であり、年齢はどの年代からも意見を得られる結果となった。
- 道路利用者の自動車の利用頻度は、約6割が「ほぼ毎日」利用と回答。

●道路利用者の属性

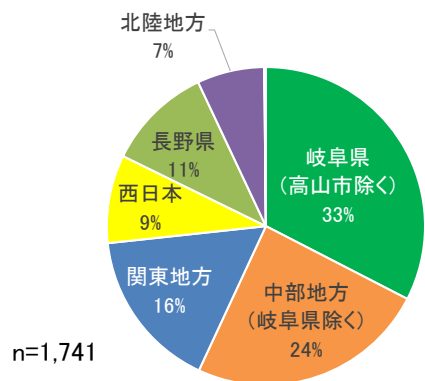


2. 第2回意見聴取の結果 2)道路の利用形態別の回答者属性 (広域利用者、業務上利用者)

- 広域利用者の居住地は、岐阜県(高山市を除く)が最も多く約3割、次いで中部地方(岐阜県を除く)
- 業務上利用者の居住地は、高山市が約9割。業種は、「製造業」「宿泊業・飲食サービス業」「その他サービス業」が多くそれぞれ約2割を占める。
- 業務上利用者の国道158号の利用時間帯は、企業活動時間帯が多く、夜間も一定量存在。

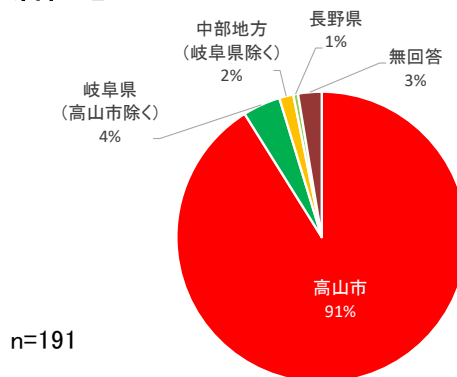
● 広域利用者の属性

■ 居住地

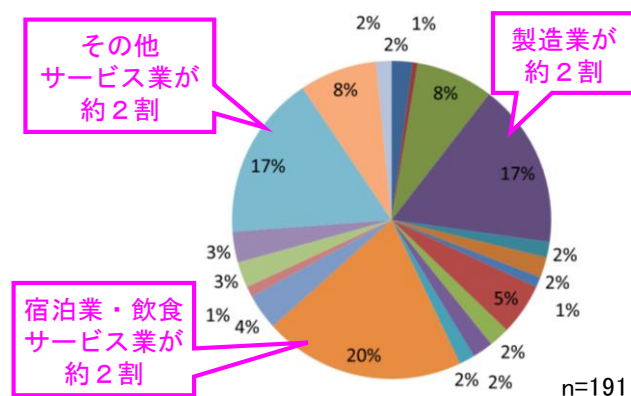


● 業務上利用者の属性

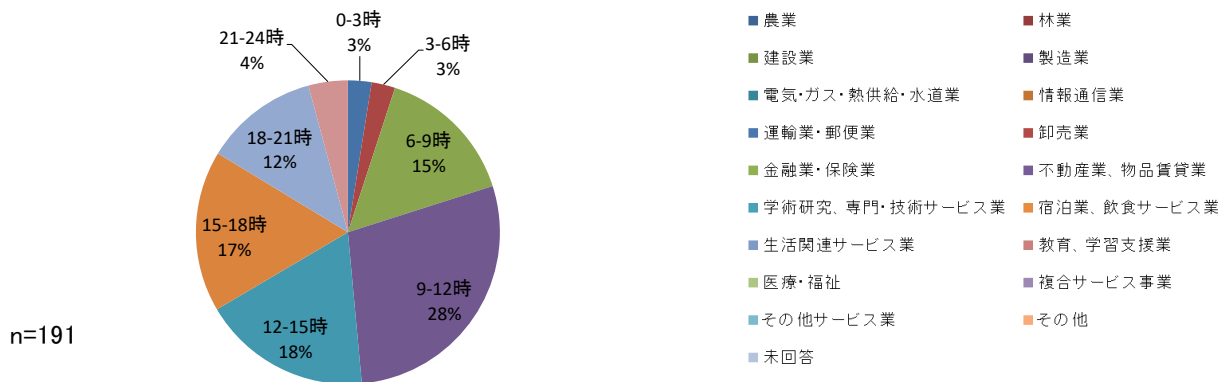
■ 居住地



■ 業種



■ 国道158号の利用時間帯



- 農業
- 建設業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 運輸業・郵便業
- 金融業・保険業
- 学術研究・専門・技術サービス業
- 生活関連サービス業
- 医療・福祉
- その他サービス業
- 未回答
- 林業
- 製造業
- 情報通信業
- 卸売業
- 不動産業・物品賃貸業
- 宿泊業・飲食サービス業
- 教育・学習支援業
- 複合サービス事業
- その他

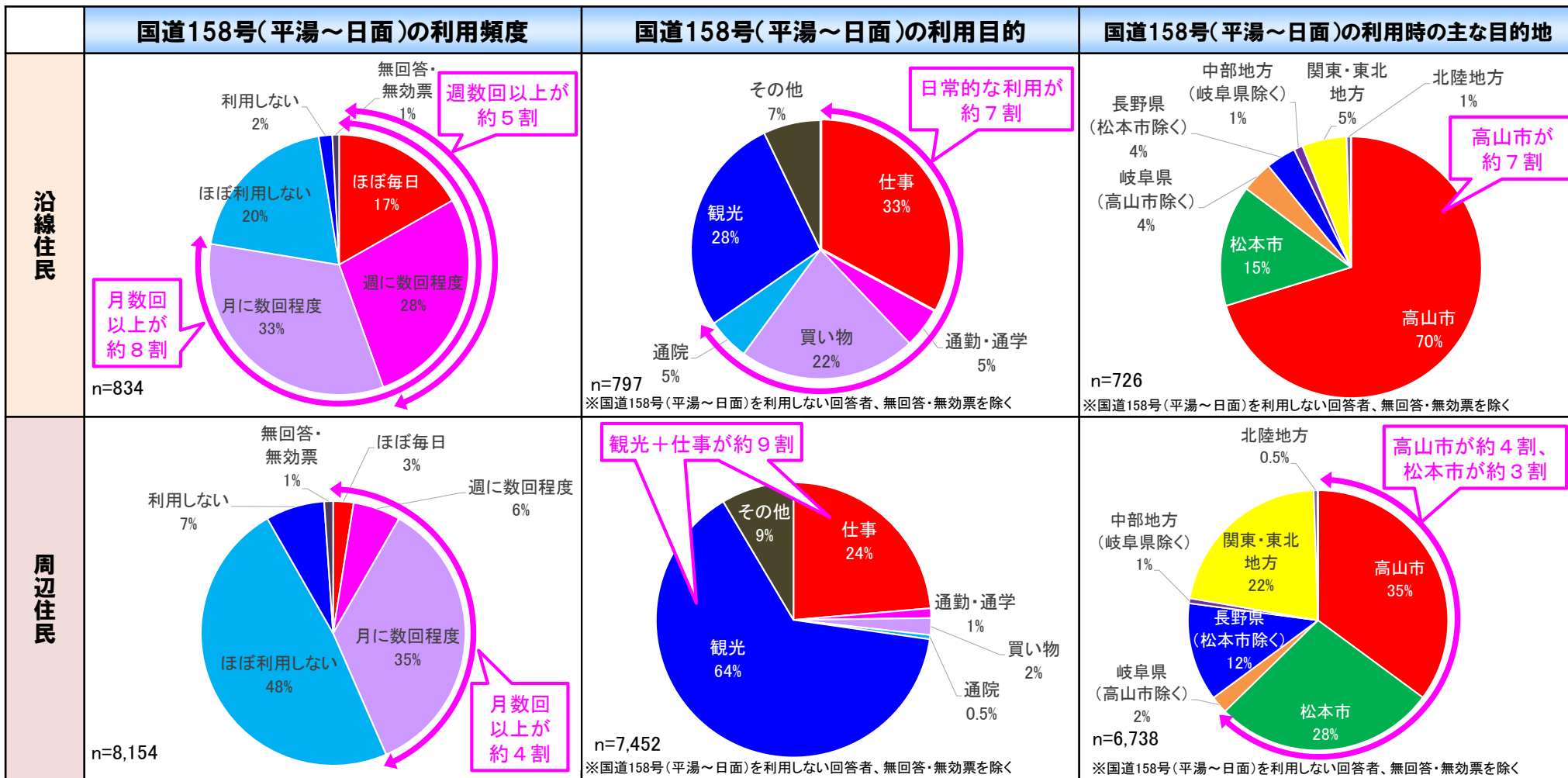
※0.1%未満は非表示

※小数点以下を四捨五入しているため合計は必ずしも100%とはならない

2. 第2回意見聴取の結果 3)回答者の国道158号の利用状況①

- 沿線住民は、約8割が月数回以上、約5割が週数回以上利用し、利用目的は通勤・通学や通院を含め「日常的な利用」が約7割、高山市を目的地とする利用が約7割と多い。
- 周辺住民は、約4割が月数回以上利用し、利用目的は「観光」と「仕事」を含め約9割、目的地は高山市が約4割、松本市が約3割。

●沿線住民と周辺住民の国道158号(平湯～日面)の利用状況

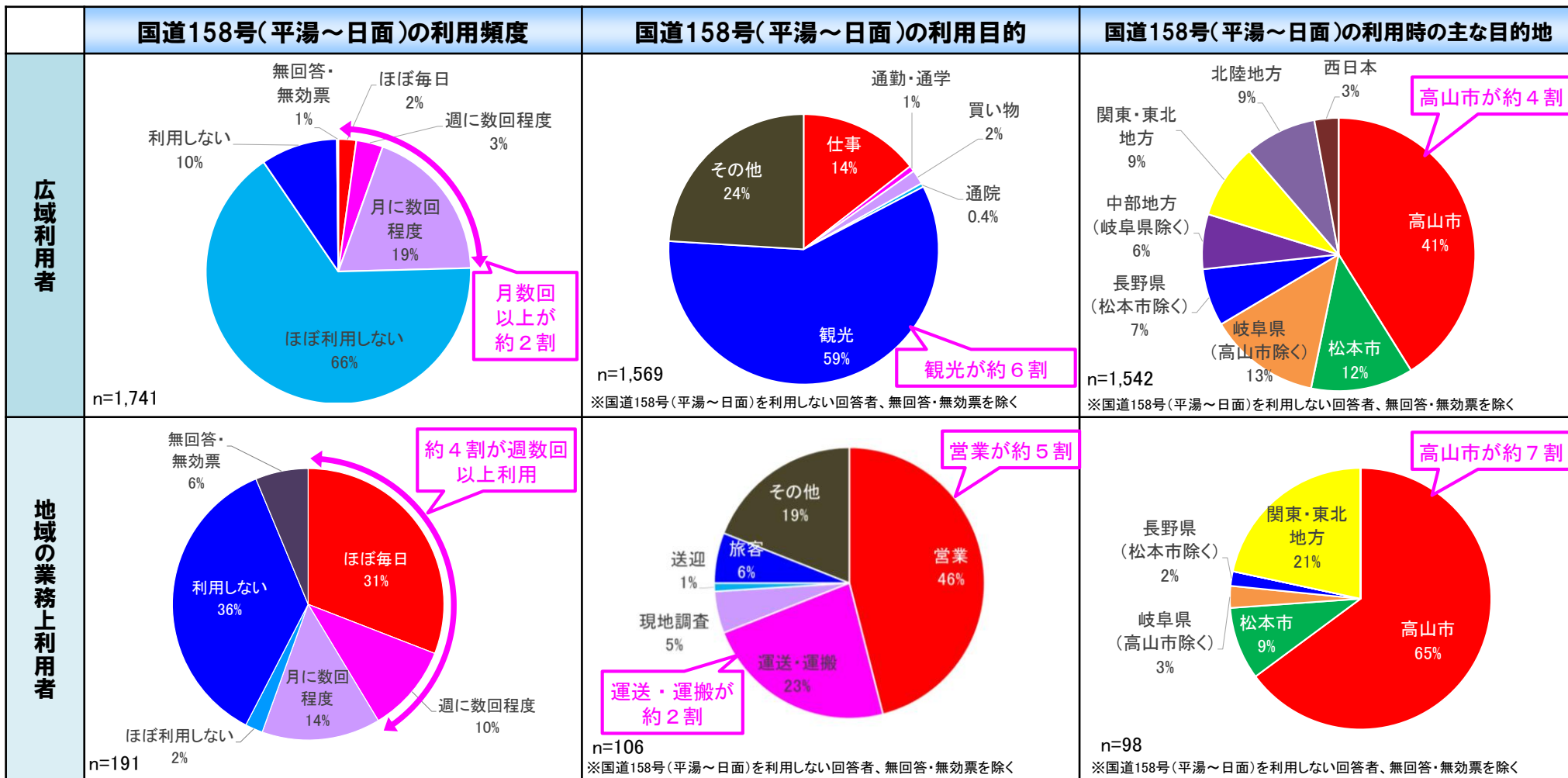


2. 第2回意見聴取の結果 3)回答者の国道158号の利用状況②

■広域利用者は、約2割が月数回以上利用し、「観光」を目的とする利用が約6割と多く、目的地は高山市が約4割、松本市、岐阜県（高山市除く）が1割以上。

■地域の業務上利用者は、約4割が週数回以上利用し、利用目的は「営業」が約5割、「運送・運搬」が約2割と多く、目的地は高山市が約7割で、関東・東北方面も一定量存在。

●広域利用者と地域の業務上利用者の国道158号（平湯～日面）の利用状況

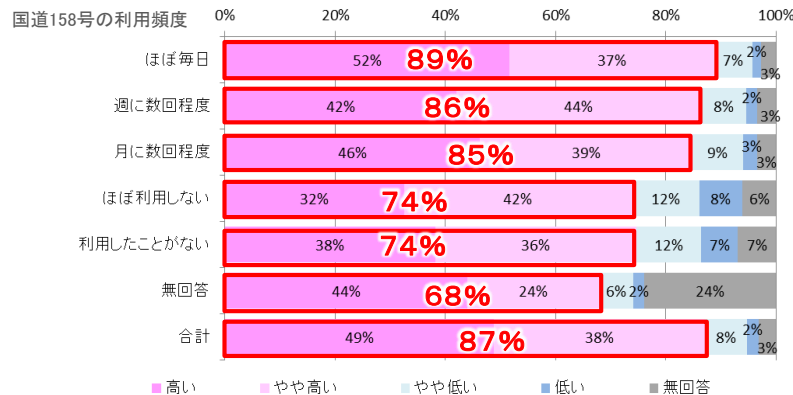


2. 第2回意見聴取の結果 4)ルート帯案に関すること①

■ルート帯を検討する際に重要と思う事項について、すべての項目で、約9割の方が重要度が高いと認識しており、国道158号の利用頻度が多い方の課題認識の割合が高い傾向。

産業

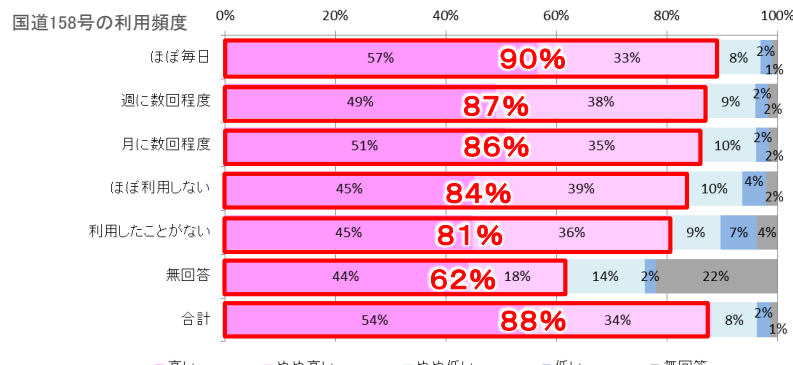
①定時性が向上すること



n=10,920

産業

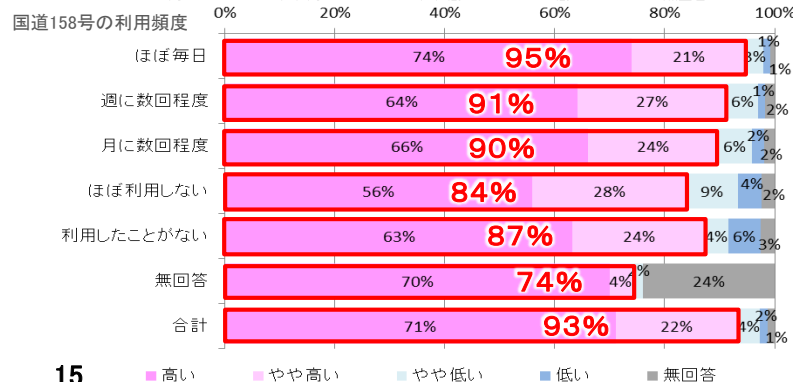
②観光地へのアクセス性が向上すること



n=10,920

救急

③救急医療施設への速達性が向上すること



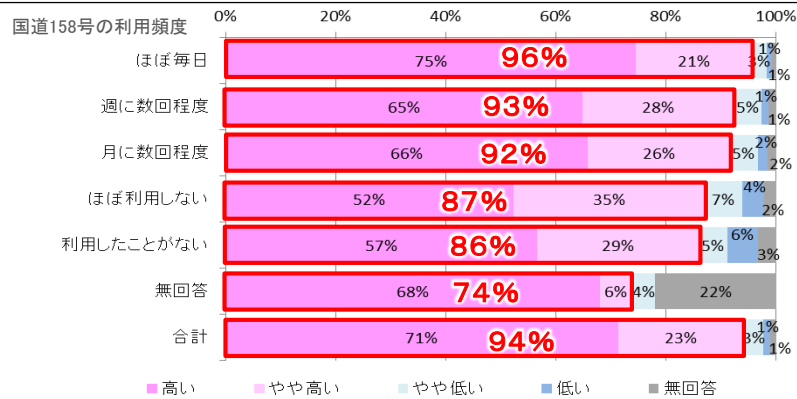
n=10,920

2. 第2回意見聴取の結果 4)ルート帯案に関すること②

■ルート帯を検討する際に重要と思う事項について、すべての項目で、約9割の方が重要度が高いと認識しており、国道158号の利用頻度が多い方の課題認識の割合が高い傾向。

安全

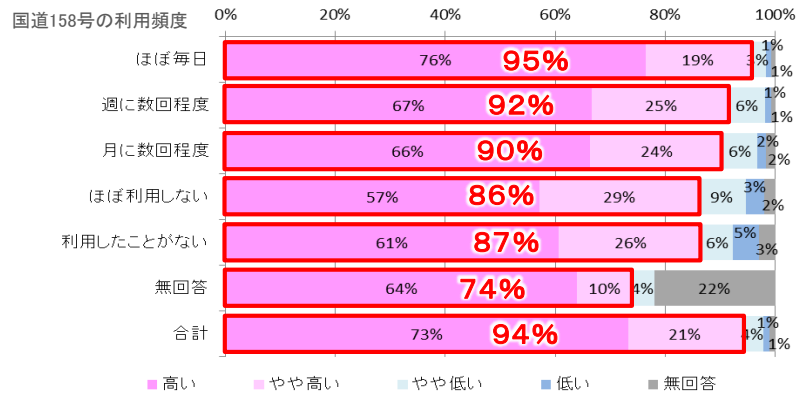
④道路線形がよくなり安全性が向上すること



n=10,920

安全

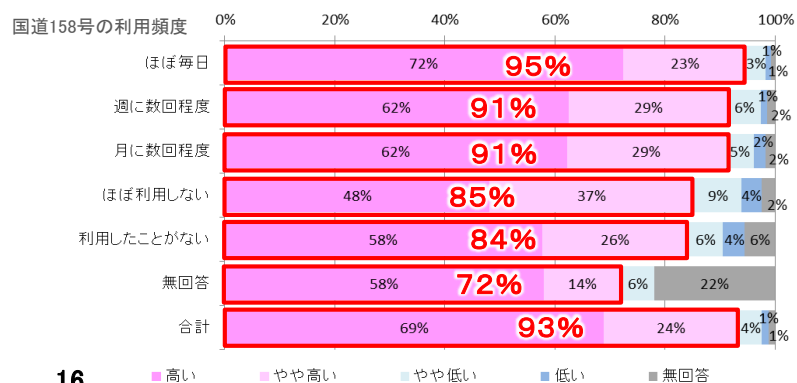
⑤積雪時の走行性が向上すること



n=10,920

防災

⑥通行止めになりにくい道路であること



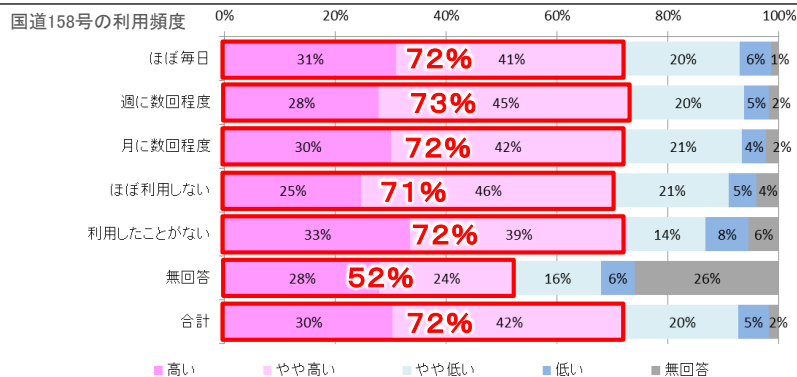
n=10,920

2. 第2回意見聴取の結果 4)ルート帯案に関すること③

■ルート帯を検討する際に重要と思う事項について、生活環境、自然環境、経済性の項目では、生活環境で約7割、自然環境で約8割、経済性で約6割の方が重要として回答しているが、国道158号の利用頻度による違いはほとんどない。

生活環境

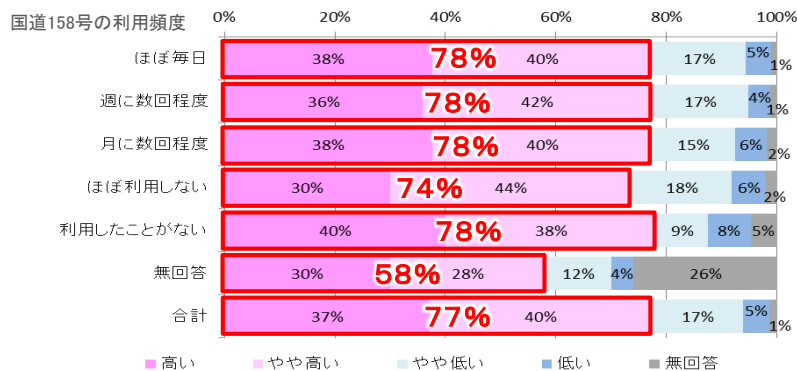
⑦既存集落での住居等の移転が発生しないこと



n=10,920

自然環境

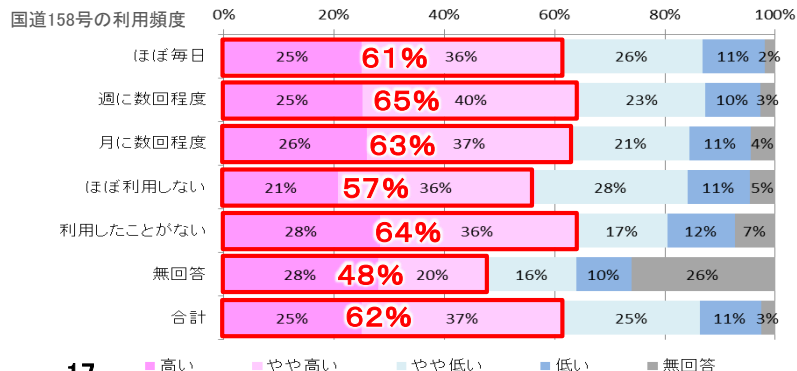
⑧自然環境を改変しないこと



n=10,920

経済性

⑨道路を作る費用が安いこと



n=10,920

2. 第2回意見聴取の結果 4)ルート帯案に関すること④

■「岐阜県方面→長野県方面（県境跨ぎ）」の利用者はどの属性とも「④道路線形がよくなり安全性が向上すること」「⑤積雪時の走行性が向上すること」「⑥通行止めになりにくい道路であること」を重視する意見が約9割以上と多い。

●ルート帯を検討する際に重要だと思う事項

質問事項		岐阜県方面→長野県方面(県境跨ぎ)					
		全属性 n=4,823	沿線住民 n=183	周辺住民 n=4,292	広域利用者 n=311	地域の業務上利用者 n=37	
重視すべき事項	速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	①定時性が向上すること	54% 90% 36%	58% 88% 30%	54% 90% 36%	47% 88% 41%	73% 95% 22%
	救急搬送時の速性・安定性の確保	②観光地へのアクセス性が向上すること	61% 91% 30%	57% 86% 29%	61% 90% 29%	54% 91% 37%	73% 92% 19%
		③救急医療施設への速達性が向上すること	74% 94% 20%	78% 94% 16%	76% 95% 19%	53% 89% 36%	84% 95% 11%
	交通安全、積雪時の走行性の向上	④道路線形がよくなり安全性が向上すること	78% 96% 18%	74% 95% 21%	80% 97% 17%	64% 96% 32%	84% 98% 14%
		⑤積雪時の走行性が向上すること	80% 97% 17%	78% 95% 17%	81% 97% 16%	67% 93% 26%	92% 100% 8%
	被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	⑥通行止めになりにくい道路であること	74% 95% 21%	79% 94% 15%	75% 96% 21%	68% 94% 26%	81% 100% 19%
配慮すべき事項	生活環境への影響	⑦既存集落で住居等の移転が発生しないこと	30% 71% 41%	39% 75% 36%	30% 71% 41%	30% 71% 41%	38% 81% 43%
	自然環境への影響	⑧自然環境を改変しないこと	37% 77% 40%	32% 74% 42%	38% 78% 40%	31% 74% 43%	35% 76% 41%
	経済性への配慮	⑨道路をつくる費用が安いこと	25% 61% 36%	26% 56% 30%	25% 61% 36%	21% 61% 40%	30% 68% 38%

：9割以上が重視すると回答があった項目

※ 国道158号(平湯～日面)の利用者を東西方向目的地別に集計